



れいわの会 森本 隆

**GREETING** ごあいさつ

4月の市議会議員選挙で、5位当選(1506票)にて、再選して頂きました。

所属会派も、「れいわの会」にリニューアルし、会派幹事として、新しい取り組みを進めていきます。

前半2年間、議会運営委員会委員長、広報編集委員会副委員長、中部消防組合議員、都市計画審議会委員にて活動していきます。

これからの4年間引き続き、市政の課題の見える化に取り組んでまいります。

## 市議会議員選挙

選挙期間中、4月14日から4月20日まで、市内各地で、スポット演説会を実施しました。



兜台7丁目自宅前



JR木津駅前



城山台公園

## 市議会議員選挙結果を考える

### 地域毎の投票率比較

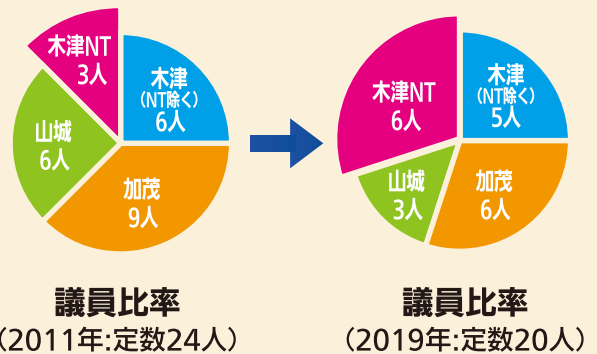
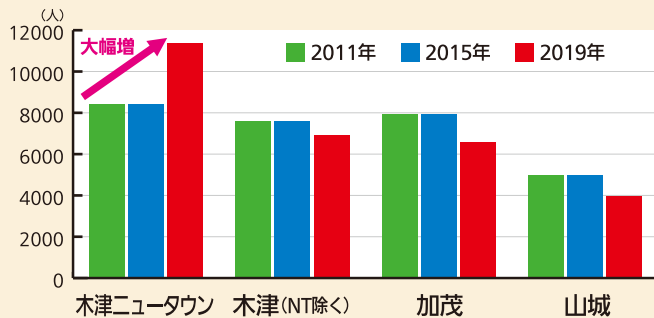
(2011年市議選、2015年市長選、2019年市議/市長選)

	2011 市議選	2015 市長選	2019 市長/市議選	8年前 比較
木津(NT除く)	58.2%	44.3%	51.0%	-7.1%
加茂	62.2%	43.3%	56.3%	-5.9%
山城	69.2%	47.8%	57.3%	-11.9%
木津ニュータウン	39.7%	36.4%	40.2%	0.6%
全体	53.3%	41.3%	47.7%	-5.6%

※木津ニュータウン(NT)＝兜台、相楽台、木津川台、州見台、梅美台、城山台

	2011 市議選	2015 市長選	2019 市長/市議選	8年前 比較
兜台	38.7%	44.1%	47.7%	9.0%
相楽台	38.9%	42.4%	48.3%	9.5%
木津川台	47.8%	38.6%	45.9%	-1.9%
州見台	32.2%	23.8%	29.8%	-2.4%
梅美台	38.5%	30.2%	32.3%	-6.2%
城山台	—	—	35.4%	—

### 投票者数の推移



### 選挙結果

- 市全体の投票率が市議会議員選挙としては過去最低(47.7%)。しかし、兜台、相楽台の投票率は約10%アップしている。
- 木津ニュータウンの投票者数は、約3000人増加した。(8,400人→11,330人)結果、木津ニュータウン出身議員は、倍増(3人→6人)した。

### 課題

各地域により、投票率に大きな差がある。(最低:州見台 29.8%、最高:山城 56.3%)  
投票率が低い地域(州見台 29.8%、梅美台 32.3%、城山台 35.4%)に対策が必要。

### 私の考え

期日前投票所を利便性の高いイオン高の原に設置したことにより、近隣地域(兜台、相楽台)の投票率は大幅にアップ(約10%)した。近隣地域の期日前投票比率も、35%以上(1500人以上)と高い。  
→投票率の低い地域(州見台、梅美台、城山台)のショッピングセンター等に期日前投票所を設置すべき。

6月議会での質問 (代表質問)

質問1 次世代への健全財政の継承を問う

Q 森本隆 平成29年3月に現状の公共施設の延べ床面積を30年間で28%削減していく目標設定がされた。平成30年度末に個別施設計画を作成することだったが進捗は。

A 市長・総務部長 個別施設計画は最終調整中。本年7月に作成完了予定。

Q 森本隆 先進自治体のように市民にわかりやすく検討内容を見える化してほしい。

A 総務部長 ご紹介頂いた先進地の進め方を研修して、優先度の配置についても、公共施設の配置に偏りがないかを施設ごとに点数化していく。日程については、30年を3期に分けて、10年で10%、20年で20%、30年で28%を目標にしていく。

Q 森本隆 教育委員会では学校施設長寿命化策定業務を実施するが、個別計画との関係は。

A 教育部長 市内の公共施設の5割を占める学校施設については、長期計画を立てることに、負担の平準化を考えている。

Q 森本隆 学校によっては空き教室があると思うが、まず社会教育施設として活用してはどうか。エアコン設置により利便性が高い。

A 教育部長 今後引き続き検討していく。

Q 森本隆 本年5月に、デジタルファースト法案が成立した。市役所スマート元年の取り組みは。

A 市長 市役所スマート化元年と位置づける本年度において、申請書などの文字情報をAI・OCRにより電子化し、定型的な業務を自動化するRPAの実証実験を全庁的に行う。実証実験結果を、本年10月に取りまとめ本格導入に向けた基礎資料として、数値目標も含めて段階的な導入を検討する。

Q 森本隆 隣町では働き方改革のために、職員約400人に対して約50人増員するとの新聞報道があるが、本市の考え方は。

A 市長公室長 本市では業務の効率化、適正化を図り職員を削減していく考えである。

Q 森本隆 最近国会でもペーパーレス化の取り組みが決まった。個人的には議会もペーパーレス化を早期に進めていきたい。

質問2 医療・福祉の充実を問う

Q 森本隆 人生100年時代と言われるとおり、本市においても、高齢化の進展は顕著になってきている。「高齢者の皆様の第二の人生を健康で生き生きと過ごすために、病気の予防と健康寿命の延伸が重要」と考える。市民の健康の実態が、平成30年3月に、平成29年度木津川市健康クラウドを活用した解析支援報告書にて分析結果がまとめられ、小学校区ごとに、市民の健康度実態と国保医療費に及ぼす要因分析及び提言がなされている。地域ごとに健康度実態調査の結果報告会を実施して、市民の方々に理解していただくことが必要ではないか。

A 市長 木津川市健康クラウドを活用した解析支援報告書の分析結果から、国保医療費に強い影響を与える要因として示された、歩行速度が遅い、運動習慣がない、十分な睡眠がとれていないことなどが、健康課題であると捉えている。また、報告書の結果は、生きがい大学などの高齢者教育事業との連携をして、また老人クラブなどへの説明を初め、市民の皆様への普及啓発に努めてまいりたいと考えている。

質問2 経済振興と産業活性化を問う

Q 森本隆 学研都市の立地企業と、市内の中小企業を含む事業者などとの交流を促進することで、オープンイノベーションを軸とした新商品の開発や、市民の皆様が学研都市を身近に感じ、その恩恵を享受できるシステムの構築を目指すとの考えは理解する。市内学研都市立地企業の企業数の推移と雇用者数の推移は。

A 市長 これまで企業誘致を進めた結果、平成18年から現在までで25施設の立地が決定した。立地企業の雇用者数は、立地企業の増加とともに毎年増加しており、平成31年4月時点では、雇用調査を開始した平成25年4月と比較して、803人増加の1,923人となっている。内、598人、31%の方が市内在住となっている。

Q 森本隆 市の取り組みとしては、女性起業家セミナーとか、起業支援に力を入れたらいいと思うが、市の見解は。

A マチオモイ部長 平成28年5月に木津川市創業支援事業計画を策定している。起業に向けたワンストップ窓口、これは本市が担いつつ、連携をした取り組みというのを進めている。その成果とし、平成30年度において、創業件数、市内で22件であった。内女性が12件。女性も多く起業をしていただいているという現状である。

※1... AI・OCRによる手書き帳票の自動読み取り技術  
※2... RPA II ロボティックプロセスオートメーション

自己研修報告 NHK技術研究所公開
今年もNHK技研公開に行ってきました。4K/8K放送技術の充実と、未来のメディアとして2030年を目指して、高精度AR/VR放送技術紹介中心でした。今後、広報、観光、教育分野の取り組みに活かしていきます。
▲高精細VR映像制作 ▲NHK技研エントランス

森本隆 [もりもと たかし] プロフィール
無所属 れいわの会所属
1959年 大阪府生まれ(59才)
1997年から兜台7丁目在住
大阪府立茨木高等学校卒業
京都工芸繊維大学 機械工学科卒業
元パナソニック(株)社員 [勤続32年・2015年退職]
主な活動履歴
●兜台7丁目自治会長(2期) ●青少年育成委員(4年)
●東日本大震災「はじめの一歩コンサート」を主催(2011年から5回実施:於 高の原)
【家族】妻と一男一女 【趣味】写真撮影、旅行、ゴルフ
http://takashi-supportclub.jimdo.com/
morimoto077473@clock.ocn.ne.jp

編集後記
今後4年間は、無所属で、会派「れいわの会」に所属して、市民の皆さんのための政策実現を第一優先に活動していきます。
今後とも、ご支援よろしくお願い致します。
河井市長初登庁